

第2回 家庭基礎 課題

1. 教科書の6ページ、7ページを読み、()内に書き込みなさい。

()内に入る言葉の解答は、裏面にあります。

② ライフステージと発達課題

生涯にわたる発達は、()や()によりいくつかの区切ることができる。その区切られた一つひとつの段階を()という。ライフステージの分け方は一通りではないが、大まかに()、()、()、()、()と区切ることができる。

それぞれのライフステージには、そのステージで達成されるのがよいと考えられている発達上の課題がある。それを()という。生涯を通してみる発達課題は、()的、()的、()的影響を受けるので、いつの時代にも同じ発達課題がふさわしいとは限らない。また、()や()によって画一的(←意味:みんな同じ)なものでもない。……

△▼ 解説 ▼△

日本では、成人年齢(20歳)を超すと、大人としてあつかわれることが多い。しかし、国によって成人年齢は違うため、かんたんにひとまとめにして「●●歳から大人」などということはできない。

例)

イギリス → 成人年齢は18歳

インドネシア → 成人年齢は21歳

タイ → 成人年齢は20歳

スコットランド → 成人年齢は16歳



① アイデンティティの確立 ※アイデンティティって何? → 「自分らしさ」

青年期は、心身ともに()に成長していく段階にあり、とまどい、葛藤、不安、悩みなどを抱えることは当然のことである。()の確立とは、()的で確信的な自己を持つことをいう。とまどいや葛藤、悩みなどから逃げることなく、「()」「自分の人生の目的は何か」と問い続け、試行錯誤をくり返すことが、アイデンティティ確立の手助けとなる。……

② 自立とは

自立とは、()として生活するのに必要なさまざまな()を備え、物事に対応ができる状態をさす。……

★ 図4をみて、5つの自立の種類を書き出そう ★

()的自立	()的自立	()的自立	()的自立	()的自立
衣食住にかかわることや身のまわりのことについて、自分でできる。	問題や課題に対して自分で判断し、行動に対して責任を取れること。	仕事について収入を得、金銭の管理をしながら生活できること。	友人や同僚、親戚など、他人との関係を築いたり調整したりできること	性に関する正しい知識と理解があり、自分や他者の性を尊重して責任ある行動ができる。

2. あなたの自立力をチェックしよう

高校1年生のあなたには、どれくらいの自立力がついているだろう？ 次の項目一つひとつを読んで、「できる」と思ったら○、「少しできる」と思ったら△、「できない」と思ったら×を、左の空欄に書いていきましょう。

○△× ↓	質問項目
	栄養のバランスを考えて、かたよりのない食事をする。
	身のまわりの整理整頓ができ、定期的に掃除をしている。
	自分で衣服を洗ったり、干したりすることができる。
	将来に備えて、少しずつでも貯金をしようとしている。
	クレジットカードや通信販売の仕組みを理解している。
	男女の体のしくみや、特徴、違う点を理解している。
	好きな相手に対しても、自分が嫌なことは「嫌だ。」と伝えることができる。
	自分の卒業後の進路や、仕事についてを考えている。
	社会で起きている事柄に関心をもち、自分なりの考えをもっている。
	近所の人に出会ったとき、自分から挨拶をすることができる。
	「ありがとう」や「ごめんなさい」を、しっかりと声に出して言うことができる。
	ゴミの分別方法を理解し、守ることができる。
	電気や水などを、無駄にしないように努力する。 例 → だしっぱなしにしない。

○は何個ありましたか？ → ()個！

年組番

名前：実施日：月日(曜日)

【裏面で解いた、問題の解答はこちら ↓】

② ライフステージと発達課題

生涯にわたる発達は、(年齢)や(発達の特徴)によりいくつか区切ることができる。その区切られた一つひとつの段階を(ライフステージ)という。ライフステージの分け方は一通りではないが、大まかに(乳児期)、(幼児期)、(学童期)、(青年期)、(壮年期)、(高齢期)と区切ることができる。

それぞれのライフステージには、そのステージで達成されるのがよいと考えられている発達上の課題がある。それを(発達課題)という。生涯を通してみる発達課題は、(歴史)的、(文化)的、(社会)的影響を受けるので、いつの時代にも同じ発達課題がふさわしいとは限らない。また、(国)や(文化)によって画一的なものでもない。

① アイデンティティの確立

青年期は、心身ともに(子どもから大人)に成長していく段階にあり、とまどい、葛藤、不安、悩みなどを抱えることは当然のことである。(アイデンティティ)の確立とは、(肯定)的で確信的な自己を持つことをいう。とまどいや葛藤、悩みなどから逃げることなく、「(自分とは何か)」「自分の人生の目的は何か」と問い続け、試行錯誤をくり返すことが、アイデンティティ確立の手助けとなる。

② 自立とは

自立とは、(社会の一員)として生活するのに必要なさまざまな(能力)を備え、物事に対応ができる状態をさす。

(生活)的自立	(精神)的自立	(経済)的自立	(社会)的自立	(性)的自立
衣食住にかかわることや身のまわりのことについて、自分でできる。	問題や課題に対して自分で判断し、行動に対して責任を取れること。	仕事について収入を得、金銭の管理をしながら生活できること。	友人や同僚、親戚など、他人との関係を築いたり調整したりできること	性に関する正しい知識と理解があり、自分や他者の性を尊重して責任ある行動ができる。